

安全データシート

作成日 2021年11月1日
バージョン 1.0
改訂日 2022年10月1日
バージョン 1.1

1. 化学製品及び会社情報

製品名 : ステイン&グレーズリキッド
会社名 : デンツプライシロナ株式会社
住所 : 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目21番1号 住友不動産汐留浜離宮ビル
担当部門 : 信頼性保証本部
電話番号 : 03-6264-2802
FAX 番号 : 03-6264-2773
推奨用途 : ペースト状のステイン又はグレーズを希釈するために使用。

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分
危険性なし

GHSラベル要素
不要

注意喚起語: なし
危険有害性情報: 危険性なし
他の危険情報: 不明

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

有害成分	C.A.S. 番号	EINECS 番号 / REACH 登録番号	分類	官報整理番号 (化審法)	WT %
1,3-ブチレングリコール	107-88-0	203-529-7 /	該当なし	2-235	≥99

4. 応急措置

吸入した場合 : 被害者を新鮮な空気のある場所に移動させる。炎症が生じたり、持続する場合は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水で皮膚を洗い流す。炎症が生じたり、持続する場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合 : 瞼を開けたまま水で被害者の目を洗い流す。炎症が生じたり、持続する場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 嘔吐させないこと。水で口を濯ぐ。意識のない人や眠気のある人には、絶対に口から何も与えないこと。速やかに医師の診察を受ける。

急性および遅発性の最も重要な症状と影響: 眼、皮膚、気道に刺激を与える可能性がある。
医師による応急手当または特別な治療に関する注意 : 摂取した場合は直ちに医師の診察を受ける必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 噴霧放水、乾燥剤、泡、二酸化炭素などを使用する。
特有の危険有害性 : 密閉された容器は、極度に熱せられると爆発する可能性がある。加熱すると可燃性の蒸気を発生することがある。分解すると一酸化炭素やブタジエンが発生する可能性がある。
消火者への指示 : 露出した損傷していない容器を噴霧放水で冷やす。水や泡を高温で燃えている液体だまりに向けて噴射しない。これにより、泡立ちが発生し、火災の激しさが増す可能性がある。消防士は、完全な非常用装備と承認された陽圧自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項及び緊急時措置 : 流出区域から避難し、無防備な人は近づけないこと。区域の換気をする。セクション 8 に記載されているような保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 下水道や水路への侵入を防ぐこと。地域や国の当局の要求に応じて放出を報告すること。
- 回収及び浄化の方法 : 不活性吸収材を使用し封じ込めて回収し、適切な容器に入れて廃棄する。流出区域を水で洗浄する。
- 他セクションへの参照 : 保護具:セクション 8 参照。
廃棄:セクション 13 参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項

安全取扱注意事項

- : 眼、皮膚、衣服への接触は避けること。セクション 8 に記載されている保護具を装着すること。十分な換気をして使用すること。取り扱い後は、石鹼と水でよく洗うこと。使用しない時は容器を閉じておくこと。
容器を再利用しないこと。空の容器には製品の残留物が残っている。空の容器を取り扱う際には SDS(安全データシート)の予防策に従うこと。

混融危険物質を含む安全な保管の条件

本製品は吸湿性である。元の容器でのみ保管すること。容器をしっかりと閉めること。涼しく、乾燥した、換気の良い場所で、混融危険物質から離して容器に保管する。物理的損傷から保護する。

特定の最終用途

業務用に限る。

8. 暴露防止及び保護措置

管理パラメータ

職業ばく露限界:

1,3-ブチレングリコール	未確立
---------------	-----

生物学的ばく露限界値:未確立

暴露管理/ 個人保護

適切な作業管理

適切な局所排気装置を使用し、ばく露レベルを最小限に抑える。

個人用保護具

呼吸保護

通常使用では必要なし。ばく露限界を超える場合は、汚染物質の形態と濃度に適した承認済みの有機蒸気呼吸器を使用する必要がある。呼吸器の選択と使用は、適用される規則と適切な産業衛生の実践に従うこと。

目/顔の保護

接触を避けるため、化学用安全眼鏡を着用すること。

皮膚の保護

長時間の皮膚接触を避けるため、ゴムなどの不浸透性の手袋を着用すること。

特定の熱危険性

必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質の情報

外観	: 無色透明な液体
臭気	: 臭気なし
臭気閾値	: データなし
pH 値	: データなし
融点/凝固点	: -77°C (107°F)
初期沸点/沸点範囲	: 207.5°C (405.5°F)
引火点	: 115°C (239°F)
蒸発速度	: データなし
可燃性(個体、ガス)	: 該当なし
爆発性の特性	: 該当なし
爆発限界	: LEL: 1.9% UEL: 12.6%
蒸気圧	: 0.06 mmHg @ 20°C (68°F)
蒸気密度	: 3.1
相対密度	: 1.006 gm/cc @ 20°C (68°F)

水への溶解度/混和性 : 水に完全に溶解する。
分配係数:n-オクタノール/水 : データなし
発火温度 : 377°C (711°F)
分解温度 : データなし
粘度 : 104 mPa·s
酸化特性 : なし

他の情報 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応 : 不明
化学的安定性 : 通常的环境下では安定している。
危険反応の可能性 : 不明
回避すべき条件 : 熱、発火源、湿った空気や水に触れないようにすること。
混触禁止物質 : 酸化剤、酸、イソシアネートを避けること。
危険有害な分解生成物 : 加熱して分解すると、有害な一酸化炭素やブタジエンが発生する。

11. 有害性情報

毒物学的影響に関する情報 :

健康への潜在的影響:

眼 : 充血や涙などを伴う軽度の炎症を引き起こす可能性がある。

皮膚 : 皮膚に若干の炎症を起こす可能性がある。

飲込み: 少量の場合、胃に影響を及ぼす可能性。大量の場合、胃腸の不快感や、めまい、疲労、意識喪失などの中枢神経系の作用を引き起こす可能性があり、重度の場合は死に至ることもある。

吸入 : 通常の使用では悪影響はないと考えられる。エアゾール濃度が高い場合、鼻や喉の炎症、めまい、疲労、意識喪失などの中枢神経系への影響が出る可能性がある。

健康への慢性的影響: 長時間または繰り返し皮膚に接触すると、皮膚の炎症や脱脂を引き起こす可能性がある。

炎症: 1,3-ブチレングリコール: ウサギの皮膚には刺激はなく、眼には若干の刺激がある。

腐食性: この製品は、腐食性がないと考えられる。

発がん性: 本製品の成分は、OSHA、IARC、NTP、ACGIH、EU CLP のいずれにも発がん性物質として掲載されていない。

変異原性: 1,3-ブチレングリコール: ラットにブタン-1,3-ジオールを飼料の24%までの濃度で与え、つがいにし、F1A、F2A、F3A を生ませた。性別ごとに少なくとも2匹のおよび一緒に生まれたラットの大腿骨骨髓を分析したところ、これらの染色体異常の増加は認められなかった。インビボでは変異原性なし。(ラット優性致死および細胞遺伝学的分析)

吸引性の危険性: 吸引の危険性はない。

急性毒性データ:

1,3-ブチレングリコール : ラット経口 LD₅₀ - 18.6-30 g/kg

生殖毒性データ: 1,3-ブチレングリコール: 雄雌25匹のラットに、対照食または1,3-ブチレングリコールを5、10、24%(2500、5000、12000mg/kg/日)の用量で添加した食餌を与えた研究である。1,3-ブチレングリコールは、食餌の10%までの濃度(5000mg/kg)で、連続飼育を組み込んだ5世代の試験において、受胎能力に影響を与えなかった。試験した最高濃度(24%、12000mg/kg)では、F2世代の5番目に子孫は生まれなかった。

特定標的臓器毒性単回ばく露(STOT-SE): 該当なし

特定標的臓器毒性反復ばく露(STOT-RE): 1,3-ブチレングリコール: 1,3-ブチレングリコールを10%(5000mg/kg/d)まで摂取させたラットを用いた慢性摂食試験において、治療に関連する副作用は認められなかった。

12. 環境影響情報

毒性 : 1,3-ブチレングリコール: 48hr EC50 Daphnia magna - >1000 mg/L; 72hr ErC50 Algae - >1070 mg/L
持続性と分解性 : 1,3-ブチレングリコール: 生分解性が高く、29日後には81%が分解される。
生体内蓄積の可能性 : 不明
土壤中の移動性 : 不明
PBT 及び vPvB 評価結果 : 該当なし
その他の悪影響 : なし

13. 廃棄上の注意

製品の廃棄 : 地域の法規制に従う。

14. 輸送上の注意

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
PRTR 法	非該当

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点での知見に基づいて作成されておりますが、製品の特性や契約関係を保証するものではありません。